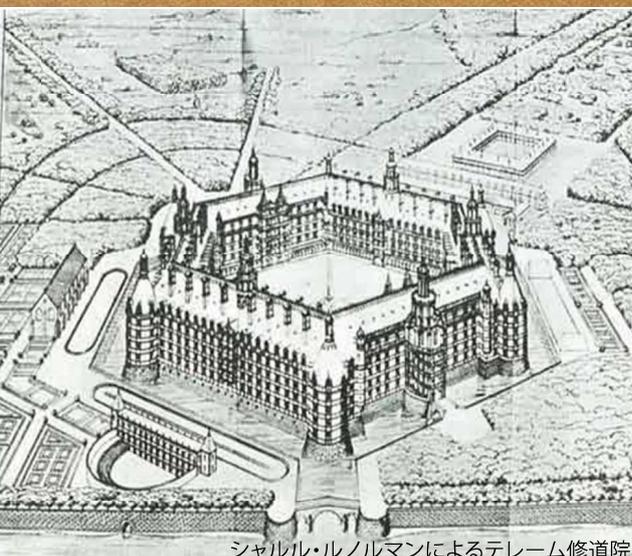


# フランス文学における建築の表象

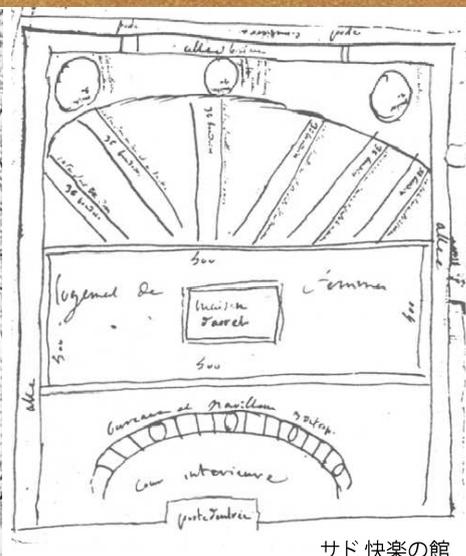
ラブレーからヴァレリーまで

- 日時 : 令和7年5月29日(木) 15:45開場16:00~17:00
- 場所 : 名古屋商工会議所9階 愛知建築士会会議室
- 定員 : 30名 他 WEB聴講 要予約
- CPD単位申請中

LE DESSIS DE PAUL VALERY より



シャルル・ルノルマンによるテレーム修道院



サド 快樂の館

フランスにおいて、建築は多くの作家の想像力を刺激し、いくつかの文学作品は建築家たちのインスピレーションの源となりました。

実際の建物でどう表れているのか、私の写真で、皆さんと見ていくことが出来れば有意義では、と考えています。

ルネサンス期のフランソワ・ラブレーによる『ガルガンチュワ』に登場する理想郷『テレームの僧院』。18世紀の作家マルキ・ド・サドの作品『ソドム120日』。19世紀ロマン派の大家作家ヴィクトル・ユゴーの『ノートルダム・ド・パリ』。20世紀の作家ポール・ヴァレリーの対話篇『ユーパリスあるいは建築家』。こうしたフランス文学における建築の表象をたどり、作家の神話的想像力に裏打ちされた空想建築の系譜を辿り、人文知と工学知の接点を探ります。

## 講師 たがみ たつや 田上 竜也

学習院大学文学部教授

### 経歴

1964年広島生まれ。  
1997年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程満期退学  
2000年パリ第12大学博士課程修了(文学博士)  
慶應義塾大学商学部教授を経て、現在学習院大学文学部教授

### 主著、翻訳

- 『未完のヴァレリー』(共編・訳、平凡社、2004)
- 『ヴァレリー集成Ⅲ <詩学>の探究』(共編・訳、筑摩書房、2011)
- ヴィリエ・ド・リラダン『残酷物語』(訳、水声社、2021)ほか

■ 締切 : 5月22日(木) 15:00 参加費 : 無料

■ 申込先 : (一社) 日本建築協会 東海支部 宛

E-mail : info@aa-j-tokai.jp TEL : 052-990-6410 FAX : 052-201-3601

■ 申込方法 : 右のQRコードのリンク先フォームを利用、利用できない場合は

以下を明記しFAX またはE-mail で、申込先まで送付してください。

① 行事名「日本建築協会東海支部講演会」

② 氏名

③ 所属

④ 連絡先(Eメール・TEL) Eメールは必須

⑤ 会場聴講・WEB聴講

⑥ 会員種別 個人会員、団体会員、非会員



建築と社会2025年3月号表紙  
東海支部ソウル視察での田上先生撮影  
「アラリオミュージアム・イン・スペース」



建築と社会

Architecture and Society

特集 東海支部

2025.03  
vol.106 No.1236  
日本建築協会



Googleフォーム

https://forms.gle/htkErmxUzYxnTsKs9